

平成29年度 第1回桐生市環境先進都市将来構想推進協議会 議事録

1. 日時

平成29年6月5日（月） 18：40～20：00

※（桐生市環境先進都市将来構想推進協議会委員委嘱状交付式終了後開催）

2. 場所

桐生市役所 6階 605会議室

3. 出席者

（1）委員（13人）

副会長：近藤 圭子〔きりゅう市民活動推進ネットワーク 代表〕
委員：西菌 大実〔群馬大学教育学部 教授〕
天谷 賢児〔群馬大学大学院理工学府 教授〕
根津紀久雄〔特定非営利活動法人北関東産官学研究会 会長〕
初山 和久〔桐生商工会議所 副会頭〕
大澤 豊〔桐生商店連盟協同組合 理事長〕
田中 忠雄〔新田みどり農業協同組合 常務理事〕
栗原 和人〔桐生広域森林組合 総括課長〕
今泉 芳雄〔桐生市家畜自衛防疫協議会 会長〕
佐羽 宏之〔2015年からの生活交通をつくる会 会長〕
坂本久美子〔桐生市女性人材リスト（農業委員・花き栽培）〕
中野 久美〔桐生市女性人材リスト（建築設計）〕
川島 悦雄〔桐生瓦斯株式会社 総務部参事〕

※欠席委員（1人）会長：宝田 恭之〔群馬大学大学院理工学府 特任教授〕

（2）事務局（5人）

助川市民生活部長
寺澤環境課長
大木環境都市推進係長
遠藤主事
高橋主事

4. 議題

- （1）平成28年度桐生市環境先進都市将来構想実施計画の進捗状況について
- （2）平成29年度桐生市環境先進都市将来構想実施計画について
- （3）その他

5. 議事要旨等

(1) 会長及び副会長の選出

会長及び副会長の選出については、前期同様に会長を宝田委員・副会長を近藤委員に推薦され、委員の全員の賛同を得る。

(2) 将来構想実施計画(平成28年度～平成30年度)に掲げる取組の進捗状況について

市の実施計画に係る平成28年度の進捗状況について説明。

平成28年度桐生市環境先進都市将来構想推進協議会委員意見における事業等反映状況について説明。

(3) 将来構想実施計画(平成29年度～平成31年度)について

市の実施計画に係る平成29年度の取組について説明。

(4) 次回日程及び委員謝金についてのお知らせ等について

第2回協議会の日程についてお知らせ：平成29年10月上旬予定

委員謝金について、協議会開催後、出席に応じ謝金を支払う旨のお知らせ

今後、開催通知などはE-mailやFAXなどで行うことがある旨のお知らせ

環境省からのライトダウンキャンペーンのお知らせ

6. 委員意見（質疑応答）

〔議題1〕平成28年度桐生市環境先進都市将来構想実施計画の進捗状況について

【委員】

電動アシスト付き自転車について、桐生の街中を自転車で走り周るにはちょうど良い環境であると思う。車より小回りがききメリットがあると思う。電動アシスト自転車は高齢者でも使えるため便利である。

自転車が走りやすい環境整備として、道路の改修も引き続き行っていただきたい。

【副会長】

ゆいで行っている電動アシスト付き自転車の貸し出しは大変喜ばれている。尚且つ無料でレンタルしているので他市にはないサービスだと利用者から言われている。

【委員】

桐生市が環境先進都市ということで目指しているが、どういうことが先進都市となるのかわかりにくい。桐生市として環境先進都市として謳う部分がないと感じている。

【委員】

桐生市として目指すべきところの具体性がわからない。ここがというところが見えてこない。環境先進都市というものが市民参加型のものだと前回意見があったが、現状からでは難しいと思う。

【委員】

環境先進都市として、どういう事が環境先進都市なのかを市民にわかりやすくした方が良い。

【事務局】

環境先進都市のビジョンとしては『環境にやさしいまちづくり』として現在実施しているところである。具体的には、新エネルギーの導入や二酸化炭素排出の少ない環境に配慮したまち、桐生の豊かな自然を守る取組を実施している。

これまでもおこなっている家庭用太陽光発電設備への設置補助、電動アシスト付き自転車への購入補助事業についても二酸化炭素排出量を減らす主旨で助成を実施している。

具体的に目に見えるものがあればイメージしやすいと思うが、現状では認知度は低い状況である。市民へのアピールについて今後検討していきたい。

【事務局】

現状では、桐生の目標とするかたちとして何が一番良いか具体的なものが見えてきていない。昨年4月より環境先進都市の事業が企画課から環境課へ移管された。これまで長期にわたり検討された内容を踏まえたものが構想であり、実施計画である。

構想を踏まえ、桐生市に何ができるか昨年全庁組織を立ち上げ検討を開始した。今後目指すべき方向性について取捨選択し、本年度引き続き検討していく。

市民の意識が環境に目が向くようにしていく。例えば電動アシスト付き自転車を市民が利用しやすいまちにするなど。現在自転車貸出の事業を環境課と観光課が別の観点で実施しており、事業を一つにまとめるように検討を予定している。

構想及び計画における問題点について委員の皆様にご意見をいただき改善していきたい。

【委員】

市民が気軽に自転車へ乗れるために、自転車に乗る環境整備が考えられる。日中は日差しが強く暑いので、日陰があることが重要と考える。桐生川の土手が整備され舗装されているが、昼間は暑く自転車や歩くには難しい。土手に桜等を植林し、名所・日陰・人が集まる効果を期待したい。昼間でも良い環境がたもてると思う。

環境都市は先進的なエネルギー導入をするだけでなく、一歩下がってエネルギーを使わない都市という考え方もあると思う。

〔議題2〕平成29年度桐生市環境先進都市将来構想実施計画について

【委員】

環境先進都市を目玉としたまちづくりも良いが、コストもかかると思う。他の市との差別化を図るため、上毛電鉄のLRT化も良いと考えるが、費用的には難しいと結果が出てしまった。LRT導入については、道路拡張にコストがかかってしまう。コンパクトシティの中で、自家用車がメインではなく自転車がメインのまちづくりをしてはどうか。ピクトグラムの整備を全線すると難しいので、市のメインとなる交差点に自転車専用道やピクトグラムを整備し、可視化することで先進都市としての市の方向性も市民にわかりやすくなり良いと考える。

【委員】

太田市は太陽光事業を全面に押し出しているためイメージがわくが、桐生市は何かというと思いつかないのが現状である。

実施計画は、内容が毎年同じであり、変化がない。数値的な目標設定がなくわかりづらい。桐生市は、公共交通が多い地域である。電動バスのマユもあるのでアピールできることがいっぱいあると思う。構想のイメージが反映されたわかりやすい計画設定・進行管理を行うことが重要と考える。

【委員】

桐生市はコンパクトシティをめざしていると思うが、コンパクトシティのイメージがわからない。コンパクトシティのイメージをわかりやすくして欲しい。

市の取り組みは順次進めていくことも大切だが、将来構想が少しずつ進んでいることをアピールすることを考えた方が良い。

【委員】

計画中の木材併設型ストックヤードについて、群馬県森林組合連合会が梅田4丁目皆沢地区で事業開始する予定となっている。森林整備が現在進んでおり、機材も良くなっている。素材生産が増えている状況である。

【委員】

環境先進都市は再生可能エネルギーの導入だけではない。水・森・土・食品等いろいろな要素が入ってくると考える。エネルギーだけではどこの都市とも差別化ができない。その中で桐生というものを考えなくてはならないと思う。また、桐生市の環境について広い視点で考えていくと良いと思う。

【委員】

桐生市の環境を生かした環境都市を考えれば良いと思う。桐生市の良いところを組み合わせ、桐生の環境を生かしたものを表に出していくと良いと思う。

【委員】

春のガス展において、現在市で行っている省エネ給湯器補助金の活用促進を行った。補助金事業は市民にとって良いが他市との差別化が難しい。未来の子ども達に何が残せるのか、桐生市の向いてる方向性がわからないと感じる。

尾瀬の大清水駐車場から運行するバスを以前マユで実験運行がされていた。現在はハイブリッド車が運行している。マユは桐生市独自のものと感じる。先般10輪車が完成したこともあり、車輪をオリンピックの5輪カラーにするなどして走ると良いPRに繋がると思う。

【委員】

高効率給湯器やアシスト付き自転車の補助等コツコツと小さいことからやっていくのも良いと思う。だんだんと先進都市のイメージを広げていけば良いと考える。

【委員】

車椅子を利用されている方は市内の道は凹凸も多く出歩きづらいと聞いた。路線バスには乗れるが、ほとんど利用せず、自分で車を運転し市外のバリアフリーの整った場所へ出かけているようである。

車椅子を使用する方が安全に出歩けられるような街づくりをしていただきたい。